承認番号：1496　　「研究概要の公開文書」　　単施設研究用

肺拡散能力測定における残気量算出方法の比較

１．研究の対象

2021 年 10 月から 2022 年 3 月に当センターにて呼吸機能検査を行った 107 例

２．研究目的・方法

侵襲性の高い肺切除術では，術前のリスク評価が重要となっている。「肺癌診療ガイドライン」でも術後のリスク評価のため肺活量（VC）や 1 秒量（FEV1.0）の他、肺拡散能（DLCO）測定値による呼吸機能評価が行われている。しかし、正確な呼吸機能検査を行うためには被検者の最大努力が必要となっており、負担軽減の目的で各施設多様に検査を行っている。今回、正確でかつ被検者の負担が軽減できる検査方法の提言を目的に検討を行う。

研究実施期間：研究許可日～半年間

３．研究に用いる試料・情報の種類

診療記録、検査結果

４．試料・情報の公開

得られた研究成果は学会・論文にて発表を予定しています。なお、公表を行う際は氏名や住所など個人が識別できる情報は削除して行います。

５．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780
埼玉県立がんセンター　検査技術部　技師　乙部　菜摘
電話：048-722-1111
研究責任者：埼玉県立がんセンター 検査技術部　副技師長　家城　正和